

# 洲本市における春のチョウについて

堀 田 久

筆者は、洲本市安乎町の自宅付近を中心として長年チョウの観察を続けてきたので、ここでは、春に成虫が出現するチョウについて、これまでの観察結果をまとめてみた。特に今年(1989年)の暖冬がどのように影響したか過去の記録と比較してみたので、普通種ばかりではあるが報告しておきたい。

1. ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* Klug  
通常4月下旬より見られる。最も早い記録は1977年4月23日(中川原町)である。
2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* Linnaeus  
通常4月下旬より見られるが、夏型に比べて個体数は少ない。最も早い記録は1973年4月20日(安乎町)である。
3. キアゲハ *Papilio machaon* Linnaeus  
4月上旬より見られるが、春型は少ないようである。
4. ナミアゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus  
早い年は3月下旬より見られるが、4月に入ってから出現することが多い。
5. モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus  
通常5月中旬より姿を見せるが、今年は5月5日に安乎町で確認している。
6. クロアゲハ *Papilio protenor* Cramer  
通常4月下旬より姿を見せるが、今年は4月12日に洲本市本町の市役所前で確認している。ただし、安乎町においては例年どおり、4月末になってから見られるようになった。
7. ナガサキアゲハ *Papilio memnon* Linnaeus  
通常5月中旬より姿を見せるが、今年は5月9日に安乎町で確認している。なお、ここ数年安乎町の筆者宅のミカン畑では、春型がかなり発生している。
8. カラスアゲハ *Papilio bianor* Cramer  
安乎町では4月下旬より見られるが、個体数は少ない。
9. モンキチョウ *Colias (Colias) erate* Esper  
3月下旬より姿が見られ、最も早い記録は1971年3月20日(安乎町)である。
10. キチョウ *Eurema (Terias) hecabe* Linnaeus  
越冬した個体は5月上旬までみられる。なお、安乎町における冬期の活動記録は、1972年1月23日、1987年1月3日、1987年2月11日、1989年1月10日である。

11. スジグロシロチョウ *Pieris (Artogeia) melete* Menetries  
通常4月上旬より姿を見せる。最も早い記録は1973年3月30日(安乎町)である。
12. モンシロチョウ *Pieris (Artogeia) rapa* Linnaeus  
通常3月に入ってから姿が見られ、2月の記録はすくなくかった。本年は明らかに暖冬の影響がみられ、安乎町北谷における第1化の発生状況は次の通りである。
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 2月11日(1頭) | 3月21日(かなり多い) |
| 2月19日(1頭) | 4月9日(多い)     |
| 3月15日(数頭) | 5月5日(少ない)    |
13. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler  
4月に入ってから見られるが、個体数はあまり多くない。最も早い記録は1989年4月2日である。
14. ムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray  
越冬した個体が3月から4月に見られるが、極めて少ない。
15. コツバメ *Callophrys ferrea* Butler  
個体数は少なく、洲本市における筆者の記録は1977年4月30日(先山の中腹)のみである。
16. ベニシジミ *Lycaena phlaeas* Linnaeus  
3月20日前後から見られ、早い記録は1974年3月18日(安乎町)である。特例としては1987年1月3日(安乎町)の記録がある。
17. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha* Kollar  
通常3月中旬より見られるが、暖かい年は次のように真冬でも活動している。  
1987年1月3日(安乎町)      1987年2月11日(安乎町)
18. ルリシジミ *Celastrina argiolus* Linnaeus  
3月下旬より見られ、4月に入ると個体数が急増する。最も早い記録は1947年3月19日(安乎町)である。
19. ツバメシジミ *Everes argiades* Pallas  
3月下旬より見られ、最も早い記録は1971年3月28日(安乎町)である。
20. ウラギンシジミ *Curetis acuta* Moore  
越冬個体は3月から4月にかけて活動するが、暖かい年は真冬でも活動する。1987年2月11日(安乎町) 1989年2月3日(安乎町)等の記録がある。
21. テングチョウ *Libythea celtis* Fuessly  
越冬個体は、3月から4月にかけて活動する。

22. アサギマダラ *Parantica sita* Kollar  
4月下旬より姿が見られ、最も早い記録は1977年4月23日(先山中腹)である。
23. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus  
4月下旬より出現し、最も早い記録は1989年4月21日(安乎町)である。
24. コミスジ *Neptis sappho* Pallas  
通常4月下旬より見られ、最も早い記録は1971年4月24日(安乎町)である。
25. キタテハ *Polygonia c-aureum* Linnaeus  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動する。
26. ルリタテハ *Kaniska canace* Linnaeus  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動する。
27. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* Denis & Schiffermuller  
越冬個体は、3月下旬から4月にかけて活動するが少ない。
28. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* Linnaeus  
本種の越冬については疑問点が多いが、成虫の最も早い記録は1947年3月31日(安乎町)である。
29. アカタテハ *Vanessa indica* Herbst  
越冬個体は3月下旬から4月にかけて活動するが、暖かい年には真冬でも姿を見せる。  
1989年1月10日(安乎町)等の記録がある。
30. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler  
通常4月中旬から見られるようになるが、本年は安乎町において4月6日に確認している。
31. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* Menetries  
通常4月中旬から出現するが、本年は安乎町で、4月9日にみられた。
32. コジャノメ *Mycalesis francisca* Cramer  
5月上旬から姿を見せる。
33. ミヤマセセリ *Erynnis montanus* Bremer  
3月下旬から見られるが、個体数はあまり多くない。
34. コチャバネセセリ *Thoressa varia* Murray  
通常4月中旬から見られるが、本年は安乎町で、4月9日に確認している。